

RECNAのめざすもの OUR GOALS



RECNAセンター長
鈴木 達治郎

RECNAは2012年4月に創設されてから、これまで皆様の温かいご支援もあり、「核兵器廃絶に正面から取り組む世界で唯一の研究機関」として、数々の成果を上げ、着実に成長してきました。今後はその成果を引き継いで、以下のような基本方針を掲げます。

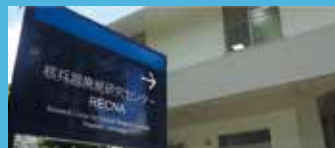
第一に、「長崎から世界に発信する研究者集団」を目指します。混迷を極める国際情勢を冷静に分析し、核抑止力に依存しない安全保障の枠組みや原子力平和利用と核不拡散の関係等のテーマに取り組めます。第二に、北東アジアの非核化を目指す政治・外交プロセス(「ナガサキ・プロセス」)の構築にむけて、その「核」となるシンクタンクをめざします。地域密着型のシンクタンクの役割を強化しつつ、国際的な連携を強化し、実現可能な政策提言を行っていきます。第三に、核問題に取り組む、グローバルな社会に通用する人材の育成に取り組めます。特に核軍縮・不拡散教育、英文学術誌やRECNA叢書等出版事業を通じて、文理の壁や実務・研究の壁を超えた人材の育成に取り組めます。

このように、RECNAは、被爆地長崎から発信する「知の拠点」として、世界の市民や専門家、政策決定者と連携し、次世代を担う専門家を育て、核兵器のない世界の実現をめざして活動を続けていきます。

Access アクセス

長崎大学 文教キャンパス内

長崎駅方面から
路面電車(赤迫行き)
→「長崎大学」下車



長崎空港から
県営バス
(昭和町・浦上経由長崎方面行き)
→「長大東門前」下車



長崎大学核兵器廃絶 研究センター (RECNA)

REsearch Center for
Nuclear Weapons Abolition,
Nagasaki University

RESEARCH STAFF スタッフ

センター長 教授……鈴木 達治郎
副センター長 教授……吉田 文彦
副センター長 教授……広瀬 訓
准教授……中村 桂子

教授(兼務)……全 炳徳
准教授(兼務)……冨塚 明

客員教授……朝長 万左男
客員教授……ステイブナーバー
客員教授……梅林 宏道

客員教授……三根 眞理子
客員教授……森永 玲
客員教授……太田 昌克
客員准教授……西田 充

客員研究員……桐谷 多恵子
客員研究員……山口 響

顧問……片峰 茂
顧問……黒澤 満
学長特別補佐……調 漸

CONTACT 連絡先

長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA)

〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL 095-819-2164 FAX 095-819-2165

E-mail : recna_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp

http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/





WHAT WE DO

RECNAの取り組み

1. 調査・情報発信

核兵器廃絶に役立つさまざまな情報・資料を整理、分析し、関心ある市民が自由にアクセスできるような仕組みを整備しています。

■国際会議のモニター活動

核軍縮・不拡散問題に関する国際会議にスタッフを派遣し、連日の議論の動向を分析。ブログなどを通じてほぼリアルタイムの生きた情報を日本の人々に提供しています。

■「市民データベース」の構築

世界の核弾頭や核分裂性物質のデータ、国連文書、各国政府の政策など、核軍縮・不拡散問題に関するさまざまな文献、資料を日英両語で提供するデータベースを作成しています。

2. 研究・政策提言

「長崎を最後の被爆地に」という想いに応える「市民のためのシンクタンク」として、RECNAは核兵器に依存しない安全保障の実現に向け、日本政府及び国際社会に具体的な政策提言を行うべく、関連テーマでの研究を進めています。

■北東アジア非核化の実現をめざす「ナガサキ・プロセス」への貢献

日本を含む北東アジアの安全保障環境を改善し、世界的な核軍縮努力に貢献する「北東アジア非核兵器地帯」構想の実現をめざすプロセス（「ナガサキ・プロセス」）に貢献すべく、韓国、米国、中国、ロシア、オーストラリア、モンゴルなどの研究者とともに「北東アジアの平和と安全保障に関するパネル」（PSNA）を設置し、具体的な政策提言に取り組んでいきます。

■地域のためのシンクタンク

2012年10月に「核兵器廃絶長崎連絡協議会」（会長：調漸長崎大学学長特別補佐・副学長）が誕生しました。長崎県、長崎市、長崎大学の三者による核兵器廃絶のための協議会です。RECNAは同協議会と連携し、公開講座の開催などさまざまな市民向けの事業を展開しています。

3. 教育・人材育成

被爆者の高齢化が進むなか、次世代を担う若者が核兵器の非人道性を自らの言葉として訴える力を得るとともに、「核兵器のない世界」を実現する担い手としての見識や行動力を身につけることが重要です。RECNAはさまざまな機会を通じて、大学生を中心とした若い世代の人材育成に取り組んでいます。

■軍縮・不拡散教育プログラムの構築

全学共通教養教育の科目群の1つとして、「核兵器のない世界を目指して」の講義を行っています。2018年度より多文化社会学研究科に「核軍縮・不拡散」専門コースを開設、ならびにRECNA叢書の発行や、長崎大学が発刊する英文学術誌"Journal for Peace and Nuclear Disarmament" (J-PAND)の編集を担当しています。

■「ナガサキ・ユース代表団」の活動支援

2013年以来毎年核問題の国際会議に、「ナガサキ・ユース代表団」（主催：核兵器廃絶長崎連絡協議会）として若者を派遣しています。参加者の事前学習、現地での活動、帰国後の活動を通じて、RECNAはプロジェクトの企画運営に全面的に関わっています。